

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産【集合住宅】(2021年SDGs対応版) v1.2.1

建物概要					
建物名称	GRAN PASEO方南町	敷地面積	429 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都杉並区和泉4-48-26	建築面積	240 m ²	評価の実施日	2024年7月3日
用途地域	準工業地域、第一種中高層住居専用地域、準防火地域	延床面積	969 m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	共同住宅	階数	地上4F、地下2F	不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2022年4月1日	構造	WRC造	確認日	2024年10月21日
直近の大規模改修実施年月		平均居住人員	30 人	確認者	米田 拓朗
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001471-29

評価結果					
79.4 /100 合計	★★★★★		S ランク:★★★★★	≧	78
(得点 / 満点)			A ランク:★★★★	≧	66
			B+ランク:★★★★	≧	60
			B ランク:★★	≧	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする					

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	指標	(*)は参考値	評価値	
適合		必須項目	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制		
		根拠等	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	176 MJ/m ² ・年
15.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)		一次エネルギー(計画値)	178.0 MJ/m ² ・年
		根拠等	実績値より	二次エネルギー(*)	18.2 kWh/m ² ・年
				CO ₂ 排出量(*)	8.7 kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価	一次エネルギー(実績値)	178.0 MJ/m ² ・年
		根拠等	エネルギー消費量実績値一覧参照	二次エネルギー(*)	18.2 kWh/m ² ・年
			二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	CO ₂ 排出量(*)	8.7 kg-CO ₂ /m ² ・年
			CO2排出量を算出する係数は0.477kg-CO2/kWh(電気)		
4.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策		
		根拠等	(2)、(3)、(4)、(6)	導入された対策項目数	4.0 項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー			
		根拠等	導入していない	利用率	0.0 %
27.0	30	合計			

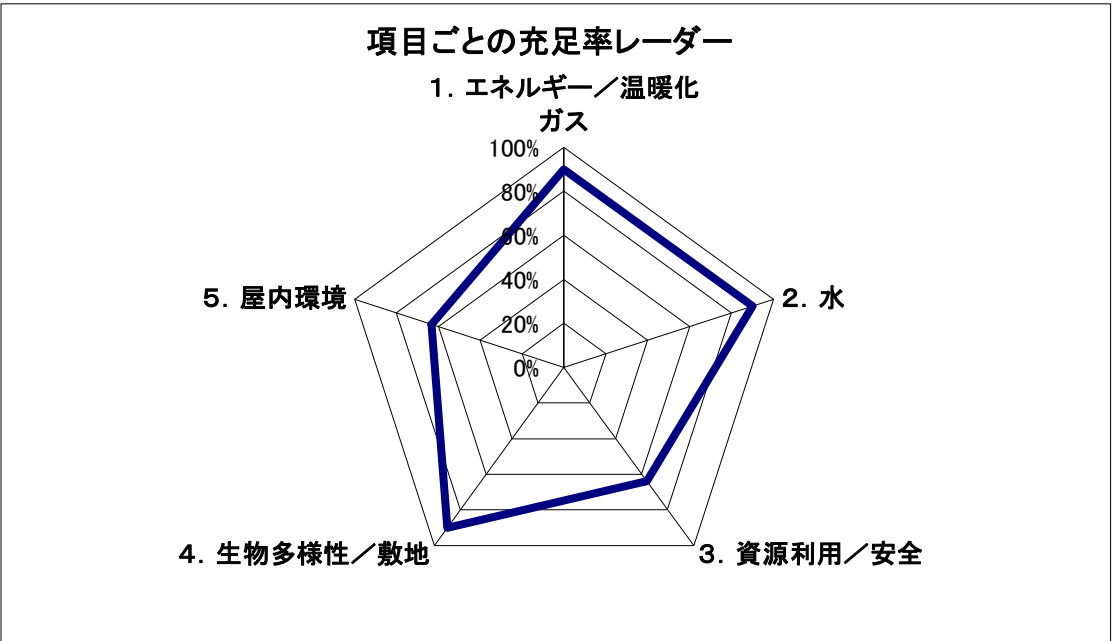
2. 水					
評価	最大加点	指標		評価値	
適合		必須項目	:目標設定、モニタリング、運用管理体制		
		根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定	水使用量(目標値)	13.8 L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
4.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等	(1)、(2)、(3)	水使用量(計画値)	L/m ² ・年
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)		水使用量(実績値)	13.9 L/m ² ・年
		根拠等			
9.0	10	合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	指標		評価値	
適合		必須項目	:新耐震基準への適合またはIs値、If値		
		根拠等	新耐震基準に適合	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等	導入していない		
3.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
		① 躯体材料	使用していない	リサイクル材品目数(非構造材)	3 品目
		② 非構造材料	リサイクル資材を使用している	取組数	3 ポイント
3.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制		経過年数＋今後の想定耐用年数	年
		根拠等	(1)、(2)、(3)	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		更新年数の平均値	17 年
		根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	自給率向上の取組数	0 項目
3.2	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー		維持管理に関する取組数	13 ポイント
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔			
		根拠等	計算式より		
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		根拠等	特になし		
5.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等	(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
3.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準項目の半分以上を満している		
12.7	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	指標		評価値	
適合		必須項目	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
		根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない	なし	
8.0	10	4.1 生物多様性の向上		②取組表による場合のポイント数	2 ポイント
		根拠等	(1)、(3)		
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生			
		根拠等	該当なし	なし	
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性		鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内
		根拠等	方南町駅 徒歩3分		
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策		リスクの合計数	1 種類
		根拠等	リスクの合計数が1種で、有効な対策を実施している		
18.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	指標		評価値	
適合		必須項目	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		
		根拠等	質問票への適合	なし	
		5.1 自然利用			
1.6	3	5.1.1 昼光利用	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光		開口率	27.5 %
		根拠等	計算式参照	昼光利用設備	0 種類
1.0		5.1.1.2 昼光利用設備			
		根拠等	昼光利用設備がない		
2.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等	計算式参照		
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		天井高	m以上
		根拠等	レベル2を満たさない		
2.0	2	5.2 健康・快適			
		5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等	外壁断熱、日射遮蔽装置、複層ガラスを全て設置している		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等	居室に冷暖房装置を実装している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等	化学汚染物質を抑える建材を用いている		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等	レベル2を満たさない		
1.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等	レベル2を満たさない		
12.6	20	合計			

GRAN PASEO方南町



環境性能の特徴

- ・エネルギー・水使用量の計算値/実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・生物多様性向上への配慮がなされている。
- ・徒歩8分圏内に交通公共機関があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクが少ない。
- ・廃棄物処理負荷抑制対策、維持管理が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄

GRAN PASEO方南町